

チャンス・チャレンジ・チェンジ



秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

相談・支援活動から Q&A

Q：子どもを叱らないために、母親ができるイライラ対処法は？

- 1 ストッフシンキング→「1、2、3」と「間」を取る。
- 2 クロスポジション→子どもの立場になって考えて、伝える言い方をする。
- 3 キーフメンター→何でも話せる相談相手をつくる（ママ友）
- 4 コーピングマント→魔法の呪文を唱える。（たいしたことない ちょうどいい）
- 5 タイムアウト→その場から離れる。体を動かすことで感情を変えられる。
- 6 ルフレーム→自分の心の枠を変えて、子どものよい部分に目を向ける。

参考文献：「子どもが変わる 叱らない子育て」

Q：高等学校で「個別の指導計画」作成の対象となる生徒は？

- 1 医療・相談機関と連携を取っている生徒
 - 2 出身中学校から引継ぎがあった生徒
 - 3 専門家・支援チームの巡回相談の対象になっている生徒
 - 4 保護者が作成を臨んでいる生徒
 - 5 診断の有無にかかわらず、校内委員会で作成の必要性が認められた生徒
- ・今年度から、特別な支援必要とする生徒の教育的ニーズや学校のニーズに応えるために、高等学校特別支援隊が誕生しました。特別支援学校事務局で調整しますので、お問い合わせください。

Q：成功体験と失敗体験どっちが大事？

- ・成功体験は、自信がもてる、意欲が高まるなどのメリットがある。失敗体験は、その後の対処方法を考えるチャンスである。失敗があっても、次の行動を自分で考えることにつながる。
- ・成功体験と失敗体験、これらをほどよくちりばめることが大切である。

Q：自閉症スペクトラムの生徒が大学に入学する際の配慮点は？

- ・通学、服装、単位の履修、教室の移動や座席、休講時の対応、友達との関わり方、異性との付き合い方、携帯電話の使い方等、課題となることを書き出し優先順位を付けて一般的なルールを確認する。
- ・困った時に、誰に、どこに相談するのか、「支援マップ」を作成する。
- ・個別の指導計画を基に、大学や相談機関への引継ぎを行う。

Q：診断名を告知するときの配慮点は？

- 1 告知する条件
 - ・みんなとの違いに悩み始めた時
 - ・診断名や特性が理解できる力がある
 - ・保護者が納得している
 - ・子どもが親や担任を信頼している
 - ・環境の変化の直前でないこと
- 2 誰が（関係者の考え方の一致が不可欠）
 - ・主治医、保護者、相談機関の人等
- 3 告知のメリット、デメリット
 - (1) メリット
 - ・抱いていた不安や悩みが軽減される
 - ・自分の特性を理解し、苦手さをカバーしようとする（前向きになれる）
 - ・周囲の人への信頼が強まる
 - (2) デメリット
 - ・将来への不安が強くなる
 - ・相談が終了してしまう

告知は支援の一部にすぎない。自分の強さ・よさを実生活で実感できるようなサポートが大切となる。